

MUSEUM NEWS

2023.2 ▶ 2023.3

戸谷成雄 彫刻

とき・2/25(土)～5/14(日)／ところ・2階展示室
内容・戸谷成雄(1947～)は1970年代から彫刻家としてのキャリアをスタートさせ、戦後の日本美術における彫刻表現を牽引してきました。本展では初期作品や「森」、「ミニマルパロック」シリーズなどの代表作を紹介し、その活動の全貌を振り返ります。

観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)

- ※ ()内は20名以上の団体料金
- ※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
- ※ 併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○担当学芸員の作品解説会

とき・2/26(日) 14:00～15:00(13:30開場)
ところ・2階講堂／定員・60名(当日先着順)／費用・無料

○対談 戸谷成雄(彫刻家) × 建昌哲(当館館長)

とき・3/12(日) 14:00～15:30(13:30開場)
ところ・2階講堂／定員・60名(当日先着順)／費用・無料



戸谷成雄《森の象の雲の死》1989年 東京都現代美術館蔵
撮影:山本紘 ©Shigeo Toyama Courtesy of ShugoArts

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2022年度 第3期

とき・12/3(土)～2/26(日)／ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

- ※ ()内は20名以上の団体料金
- ※ 中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

◇セレクション

◇まるく／まわる

円や球体をモチーフにした作品や、回転する作品が集まっています。

特別出品・諫山元貴《Order#10》1/6(金)～2/26(日)

2022年度 第4期

とき・3/4(土)～5/7(日)／ところ・1階展示室

- ※ 会期中一部作品の展示替えがあります。
- 前期:3/26(日)まで／後期:3/28(火)から

観覧料・第3期の観覧料と同一です。

◇セレクション

◇倉田白羊と森田恒友

同じ年に生まれ、親交のあった埼玉ゆかりの画家・倉田白羊(1881-1938)と森田恒友(1881-1933)。ふたりの画業と交友の足跡を、作品や資料を通して紹介します。

◇奥原晴湖／菊沢武江

南画家、奥原晴湖(前期展示)と日本画家、菊沢武江(後期展示)。埼玉ゆかりの画家をそれぞれ紹介します。

ミュージアム・シアター

ホラー映画とジェンダー／フェミニズム

映画や音楽、パフォーマンスといった、展覧会ではなかなか紹介できない表現について取り上げるイベントとしてミュージアム・シアターを開催します。今回は「ホラー映画とジェンダー／フェミニズム」をテーマに、ホラー映画2作品の上映および映画研究者である鷺谷花氏をお招きした講演会を行います。

とき・3/5(日) ①12:00～、②14:00～
3/19(日) ③10:30～、④13:00～

ところ・2階講堂／定員・各回60名(各回入替制)／費用・無料

- ※ 事前予約制です。申込方法や日程の詳細は、当館HPをご確認ください。
- 上映作品・①③『悪魔のいけにえ』(1974)、②④『サスペリア』(2018)
- ※ R15+指定作品のため、15歳未満の方は観覧できません。

講演会・19日の上映終了後、「ホラー映画のジェンダー論」のテーマで鷺谷花氏(映画学・日本映像文化史研究)による講演会を行います(講演会は④に含まれます)。

※ 本紙記載の展覧会やイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。



所在地 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では、駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。
ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



美術館ホームページ



©埼玉県立近代美術館

発行・埼玉県立近代美術館 編集・佐伯綾希・真中博行 原稿執筆・(S.S.) 佐原しおり / (I.A.) 飯田淳乃 広報協力・JR 東日本大宮支社

ミュージアム・レクチャー

文化財の継承と作品制作—クローン文化財事業の現場から

展覧会鑑賞とは別の視点で美術を知る場として、ミュージアム・レクチャーを開催します。今回は、日本画家の林樹里氏をお招きします。林氏は制作活動の一方で、近世日本絵画技法の研究や、パーミヤンE窟天井壁画《青の弥勒》やフリーア美術館蔵雪村筆《寿老人》など数々の文化財の高精細複製「クローン文化財」制作を精力的に行っています。今回は「クローン文化財」制作の紹介を交えながら、模写や文化財継承の現在、自身の作品制作についてお話いただきます。

とき・3/21(火・祝) 14:00～15:30(13:30開場)

ところ・2階講堂／定員・60名(当日先着順)／費用・無料

講師・林樹里(日本画家・東京藝術大学 COI拠点 Arts&Science LAB 特任助手)

アート体感ワークショップ

MOMASのとびら

事前予約制です(フリープログラムを除く)。
当館ホームページからお申込みください。

《3月のプログラム》

3月分のお申込みを2/1(水)から受け付けます。

○工房

とき・3/4(土)、3/11(土) 各日13:30～15:00

対象・小学生～大人／費用・500円

《4月のプログラム》

4月分のお申込みを3/1(水)から受け付けます。

○フリープログラム ※事前申込不要

とき・4/8(土)、4/22(土) 各日13:30～15:00

対象・どなたでも／費用・無料

○彫刻あらいぐま

とき・4/29(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生＋保護者／費用・無料

※ 開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。
※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ

https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら



一般展示室 (地階)

※ 日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆2/8(水)～2/12(日)

令和4年度埼玉県立美術系高等学校作品展・卒業制作展

……………一般展示室1～4

◆2/14(火)～2/19(日)

令和4年度第63回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展第15回中央展覧会……………一般展示室1

令和4年度埼玉大学教育学部図画工作・芸術分野卒業制作展……………一般展示室2～4

◆2/21(火)～2/26(日)

山田郁子個展……………一般展示室1

女子美術大学同窓会埼玉支部「第14回彩の会」……………一般展示室2～4

◆2/28(火)～3/5(日)

第19回ネーチャーフォト支部写真展……………一般展示室4

◆3/7(火)～3/12(日)

第48回埼玉書道三十人展……………一般展示室1

埼玉現展……………一般展示室3～4

◆3/14(火)～3/19(日)

宝船展@MOMAS……………一般展示室1

第10回埼玉植物画の会作品展……………一般展示室2

第12回五彩展……………一般展示室3

立体的写真の世界……………一般展示室4

◆3/21(火)～3/26(日)

第28回彩の国さいたまきりえ展……………一般展示室2

第7回ポーロニア展……………一般展示室3

彩の国写真倶楽部【埼玉県立近代美術館・第18回展】……………一般展示室4

◆3/28(火)～4/2(日)

加藤義雄展……………一般展示室2～3

神保ふみえ・安原竹夫展……………一般展示室4

公募展「カラダで・みる、うごいて・みる！」 5年間の集大成

公募展「カラダで・みる、うごいて・みる！」では13グループの作品が集まり、審査会を盛り上げました。今回で4回目の開催となるこの公募展は、「美術作品をみた時に、上手く言葉にできない自分の気持ちやイメージを自身のカラダを使って表現する。」という内容で、作品を鑑賞しカラダで表現した「うごき」を映像に収めた作品を募集しました。

今年度の課題作品は、当館収蔵作品の①小村雪岱《おせん》、②橋本真之《果実の中の木もれ陽》、③タイガー立石《Moon's Satisfaction》、④アキッレ・カスティリオーニ&ピエル・ジャコモ・カスティリオーニ《アルナッジオ(月面着陸)》の4点です。この中の1つをグループで選び、思い思いに鑑賞し15秒以上2分以内で動画を制作します。以下、今年度の受賞グループです。(「」の中はグループ名)

◆総合グランプリ

狭山市立入間野中学校「次回、なにもしす！」

◆総合準グランプリ

鴻巣市立吹上北中学校「自然の会」

◆中学校グランプリ

鴻巣市立吹上北中学校「先の時代の敗北者じゃけえ」

◆中学校準グランプリ

鴻巣市立吹上北中学校「猿人のあつまり♡」

◆中学校準グランプリ

鴻巣市立吹上北中学校「走れメロン」

◆特別支援学校(級)グランプリ

埼玉県立行田特別支援学校「森の妖精たち」

受賞された皆さんおめでとうございます！

総合グランプリの狭山市立入間野中学校「次回、なにもしす！」グループは、課題作品④アキッレ・カスティリオーニ&ピエル・ジャコモ・カスティリオーニ《アルナッジオ(月面着陸)》を鑑賞しました。「鑑賞した作品が」見ていないところで動き出し、急に立ち上がりそうだった。この作品は成長しそだったのでその一生を表現しようと思った。カメラマンが振り向くたびに、演者のポーズが変わり、作品が動いたり成長したりしている様子をカラダ全体で表現しています。撮影場所に階段を選びカメラワークも工夫している様子が伺えました。担当の先生からは、「最初は戸惑い気味でしたが、実際に撮影を始めるとどんどんやりたいことが増えてきたようで時間内に収めるのが大変そうでした。余計な音が入らないように上履きを脱いで撮影にも熱が入っていました。」と、生徒たちの様子を教えていただきました。

「鑑賞」と聞くと、なんだか堅いイメージを持つ方もいるかもしれませんが、美術作品から感じることはひとりひとり違うはず。作品の題名や制作者名からだけではなく、まずはじっくり作品に寄り添い、みていくことで、作品の感じ方の幅が広がるかもしれません。

平成30年度より始まった公募展「カラダで・みる、うごいて・みる！」ですが、今年度の第4回を持って閉幕となります。新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和2、3年度は見送りとなり実質3回の実施となりましたが、子供たちの作品にはいつも驚かされました。次年度はまた違う公募展を開催できたらと思います。美術作品を様々な角度から楽しむことができる公募展としてお待ちしております。(I.A.)



受賞作品は、2023年3月19日(日)まで、当館1階ロビーで上映します。

ミュージアム・ショップおすすめ商品

行田市にある高澤記念館で製造、販売している非加熱の生はちみつを取り扱いはじまりました。自然豊かな地元行田市で1年を通して採集される蜂蜜は、季節ごとに変わる花々の香り、色合いをお楽しみいただくことができます。1匹のミツバチが一生涯をかけて集める蜜の量は、わずかティースプーン1杯だそう。まだまだ乾燥するこの季節、喉をいたわるのにも最適ですね。



生ハチミツ ¥880(税込)



美術館ホームページ



©埼玉県立近代美術館